

埼玉県新型コロナウイルス専門家会議委員への意見照会（電子メール）の概要

1. 意見の回答日

令和2年12月28日（月）

2. 委員（敬称略 五十音順）

岡部 信彦 川崎市健康安全研究所 所長

金井 忠男 埼玉県医師会 会長

川名 明彦 防衛医科大学校 教授

坂木 晴世 国立病院機構西埼玉中央病院専門看護師

松田 久美子 埼玉県看護協会 会長

光武 耕太郎 埼玉医科大学国際医療センター 医師

3. 照会事項

1 埼玉県をステージⅢ相当と判断することについて

4. 主な意見

- 賛同する。病床がひっ迫しているため必要である。（岡部委員、松田委員、坂木委員）
- 可能であれば、緩和するときの基準を想定しておいた方がよい。（岡部委員）
- 賛同する。入場制限の徹底について、スーパーやデパートの食品売り場や観光地など具体的場所を明示し、店舗が混雑しないよう改めて強く要請することなど、個別・具体的な示し方については必要と考える。（金井委員）
- 強力な措置が必要なのは明らかである。コロナ患者だけが入院が難しいのではないかと思われるかもしれないが、その他の病気でも受診や入院ができないかもしれない状態になっていることを知ってもらう必要がある。（光武委員）
- 元来活発な行動をされていたシニア層は行動変容が難しいと感じている

が、この世代の感染の伝播を食い止めることが病床ひっ迫や死亡者数の減少に重要だと考える。(坂木委員)

- 感染者数が減少に転じず、諦めムードが一部の人々に漂っていると感じられ、それが行動変容に繋がっていないと考えられ、危惧している。(坂木委員)
- 年末年始は、学校や会社などの社会活動の多くが休みとなり、家族以外の人との接触を減らす機会にもなり得るため、個人がどう行動したらよいのか分かるようなメッセージが必要ではないか。

【県の対応】

- 県内の感染状況及び委員の意見を踏まえ、本県の状況をステージⅢ相当であると判断した。(12月28日開催 第37回新型コロナウイルス対策本部会議において決定。)